

学校だより

校訓「創造」「感動」「鍛錬」

令和5年度 第9号（1月16日発行） 校長 亀山 浩一

垂水市立垂水中央中学校

令和6年スタート

新年、明けましておめでとうございます。今年の干支は甲辰（きのえたつ）です。一説によると、この年は「活力旺盛になって大きく成長し形が整う。」とか「自分や学校、チームなどの課題や困難を乗り越えて成功する。」というような意味があるようです。と、始業式で話そうと思っていましたが、1月1日16時10分にマグニチュード7.6の地震が石川県能登半島で発生しました。地震のあとに津波が押し寄せる映像を見て、東日本大震災（H23）を思い出し、火災が発生し、なかなか鎮火されない映像を見て阪神・淡路大震災（H7）を思い出し、陥没したり隆起したりしている道路を見て熊本地震（H28）を思い出したのは、私だけだったでしょうか。天災は、忘れた頃にやってくると言われますが、10年の間を開けず、大きな地震が日本列島を襲ってきています。始業式では、「マグニチュード7.6の地震が、もし錦江湾で起きたら皆さんどうしますか？」「学校がある日の16時10分だったらどうしますか？」「もし、桜島の大爆発が起きたらどういう行動を取りますか？」と投げかけてみました。1年間に3回の避難訓練はしていますが、訓練ではなく実際に自然災害を想定して、どのようにして命を守るかや具体的にどこに避難するかを考えておく必要がある等の話をしました。



ある学級で、「自然災害時にすぐに持ち出せるバッグを準備している家庭はありますか？」と質問したところ、2人の生徒が挙手したと聞きました。私も含め、自然災害への備えを改めてしておくべきだと考えられる地震となりました。

また、1月2日には、日本航空機と石川県に支援物資を運ぼうとしていた海上保安庁の航空機が衝突し、炎上しているニュースが飛び込んできました。日本航空機の乗員379人は奇跡的に無事でしたが、海上保安庁の5人の死亡には胸が苦しくなりました。地震が起きていなければ衝突事故は起きていなかったのと思いつつ年明け早々に暗いニュースが日本を駆け巡りました。

始業式では、箱根駅伝の話もしました。駒澤大学に73歳で入学した欽ちゃんこと萩本欽一さんに、駒澤大学の駅伝部員が「第一線で活躍し続ける秘訣はなんですか？」と質問したそうです。欽ちゃんは、「成功した喜びは短く、失敗した悔しさも短く、あとはいつものように努力する。」と言ったそうです。生徒にも、「大きな災害もありましたが、悲しさややるせなさを引きずり過ぎずに、毎日を平常心で、自分にできることをいつものように努力していきましょう」と話しました。



講師の竹下洋平先生

血液教室

1月12日（金）6校時に3年生を対象に血液教室を開催しました。講師に学校薬剤師で垂水調剤薬局の竹下洋平先生にお越しいただきました。血液の働きや、貧血を防ぐための食事として鉄分の多いもの（レバー、めざし、貝類、ほうれん草、ひじき等）やビタミンCの多いもの（トマト、ピーマン、ブロッコリー、アスパラガス、ゴーヤ等）を食べ、健康を維持することが必要なことを学習しました。また、16歳から献血ができることから、献血をする時の流れや、血液を提供することが「身近なボランティア」になり、その血液が悪性新生物などの患者に輸血されるなど学習する良い機会となりました。

門松づくり

12月20日（水）学校応援団による門松づくりが行なわれました。野球部の生徒も加わり、立派な門松ができました。門松は、「幸せをもたらす神様が、迷うことなくやってくるように」と願いを込めて立てられるものです。令和6年を気持ちよく迎えることができました。



学校応援団と野球部員

日	曜	2月の主な行事
6	火	学年末テスト（～8日）
15	木	3年学年学級PTA
18	日	第2回PTA奉仕活動
21	水	県下一周駅伝（垂水通過）
28	水	1, 2年学年学級PTA
29	木	生徒会専門部代議員会

表彰

鹿児島県中学校バレーボール交流大会（桜島爆発大会） 男子 Cブロック第1位
第1回Sports ADVANSカップ中学校大会 男子ソフトテニス部 A級の部 準優勝
第24回若草文学賞 最優秀賞 2年 山下美南
優秀賞 3年 永田陽士
推薦 1年 安藤冴羽 深見杏夏 中野芹香

